

9 月 定例記者会見 市長あいさつ

皆さま、こんにちは。

昨今、全国各地において、地震や大雨、台風など、甚大な被害をもたらす災害が相次いで発生しております。

先週、関東地方に接近した台風 25 号では、千葉県や神奈川県を中心に、記録的な大雨による土砂災害など、深刻な被害がもたらされました。

今回の台風 25 号により、お亡くなりになられた方々に対し、心よりお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

取手市におきましても、レベル 4 大雨危険警報やレベル 4 土砂災害危険警報が発表され、道路冠水など、多くの被害が発生し、その対応にあたりました。

災害の対応にあたりましては、今後も関係機関と連携しながら、市民の皆さまの安全確保に努めてまいります。

さて、茨城県内の食の魅力を広く発信するイベントとして、10 月 10 日土曜日から 12 日月曜日の期間に、茨城県を代表するグルメを決める、「シン・いばらきメシ総選挙 2026」が水戸市で開催されます。

取手市からは、取手市産のバナナポークや地元産の食材を使用した「バナナポークのドレスオムライス」と、取手

市産さつまいもを使用した温かい焼き芋に冷たい濃厚カタラーナをサンドした「シン・イバラキドッグ」がエントリーをしております。

現在、ホームページなどからの事前投票を受付しており、イベント会場での投票と合わせた結果によってグランプリが決定されます。

事前投票は、10月5日月曜日まで受付しておりますので、皆さまにおかれましては、ぜひ取手市代表グルメに投票していただき、お時間がございましたら、現地会場においても取手の味覚を応援いただければ幸いです。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、「AIを活用したカスハラ対策システムを運用開始」についてです。

令和8年10月1日施行の改正労働施策総合推進法^{しきく}では、カスタマーハラスメント防止のための措置が全ての企業や自治体に義務付けられました。

取手市では、令和7年11月から約3か月間、相談室等において、AI音声認識・感情解析を同時に活用した、カスハラ対策システムのテスト運用を行いました。

この結果、カスハラへの一定の抑止力と、相談職員の心理的安全性の確保などの効果が期待できることから、令和

8 年 1 0 月より正式に導入し、運用を開始いたします。

運用開始日は、令和 8 年 1 0 月 1 日を予定しており、設置場所は、本庁舎 2 階市民協働課前相談室と、新庁舎 1 階健康福祉部面談室の 2 か所でございます。

今後も A I 音声認識や生成 A I など、A I 技術を活用して、業務効率の改善と住民サービスの向上に取り組んでいきたいと考えております。

次に、「茨城初！中学生が地域のお祭りでダーツ体験ブースを運営」についてです。

取手市立永山中学校では、スポーツダーツプロジェクトの「つくろう！ダーツ部応援キャンペーン」に参加し、令和 8 年 5 月 2 7 日に体育の授業でダーツを導入いたしました。

この授業でダーツを体験した生徒たちの声をきっかけに、この度、地域イベントにおいて、中学生が主体となるダーツ体験ブースの出展が実現いたしました。

中学生がダーツ体験ブースを地域のイベントで出展する取り組みは、茨城県ではじめてとなります。

今回、1 0 月 1 1 日日曜日の「永山フェスティバル」と、1 1 月 2 8 日土曜日の「ゆめみ野フェスティバル」の二つのイベントで、ダーツ体験ブースを出展する予定です。

イベント当日は、生徒がルールの説明や安全管理、体験

サポートなどを担当して、来場された皆さんにダーツを楽しんでいただける場を提供いたします。

今回の取り組みを通じて、生徒ひとりひとりの主体性や社会性の向上に加え、地域貢献に向けた意欲の醸成にもつながることを期待しております。

以上で、私からの説明は終わります。